

終刊の辞

この第三五号をもって『とい』の終刊号としたい。第一号は、1981年9月刊。37年間を閲したことになる。お読みいただいたかたがたやご支援いただいたかたがたには、お礼のことばもない。すでに鬼籍に入られたかたがたには、ささやかだが、35号を重ねたことを手向けとさせていただきたい。

終わりは、始まりでもある。みなが老馬となりはて、速度はなかなか上がらないが、これからも走りつづけたい、書きつづけたい、——年月が醸してくれて、こくのある作品が生まれれば、という希望をもちながら。だから、帆はたたまない。

みなさまには、どうかごきげんよう!!

2018年7月1日

グループ帆